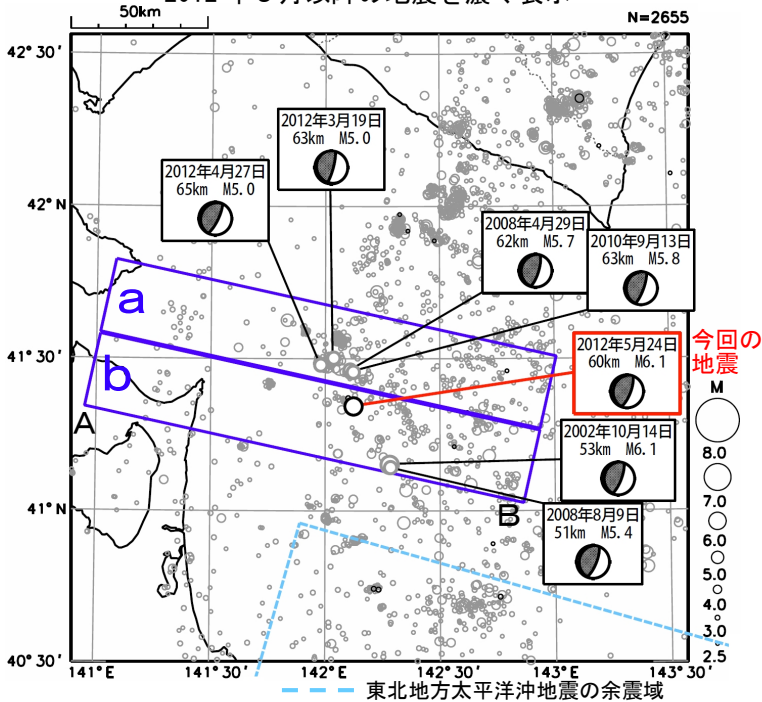


# 5月24日 青森県東方沖の地震

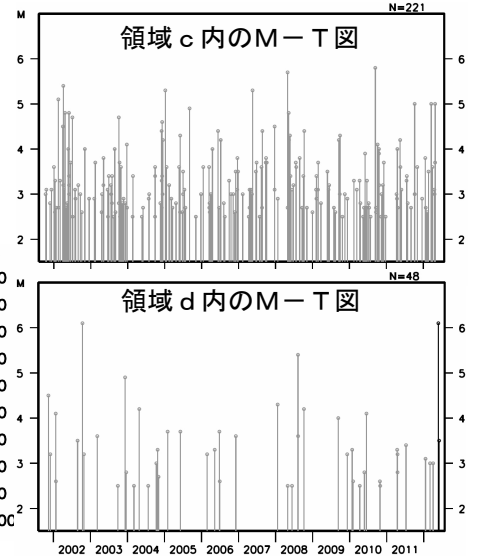
震央分布図\*

(2001年10月1日~2012年5月31日、深さ0~100km、M $\geq$ 2.5)  
2012年5月以降の地震を濃く表示



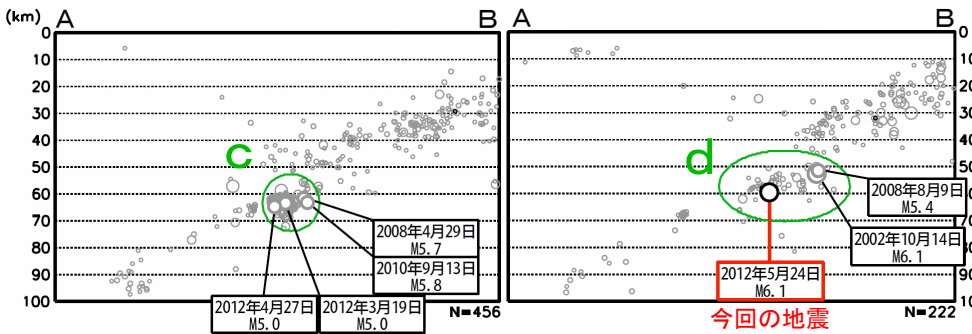
2012年5月24日00時02分に青森県東方沖の深さ60kmでM6.1の地震(最大震度5強)が発生した。この地震により、青森県でガラス破損などの被害が生じた(総務省消防庁による)。この地震の発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

2001年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域d)では、2002年10月14日にもM6.1の地震(最大震度5弱)が発生している。また、今回の地震の震源の北側(領域c)では、しばしばM5.0以上の地震が発生している。これらの領域は2011年3月11日の「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」の余震域よりも北にあり、東北地方太平洋沖地震の発生前後で活動に変化は見られない。



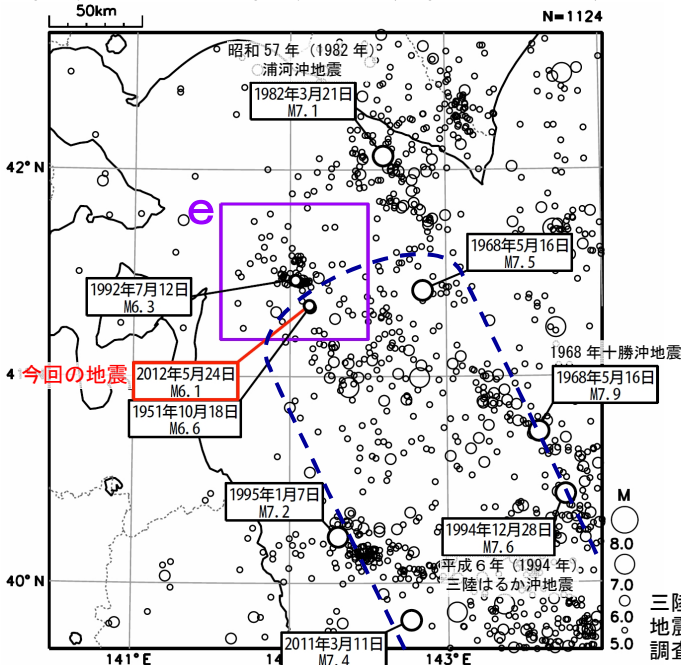
領域 a 内の断面図 (A-B 投影)

領域 b 内の断面図 (A-B 投影)



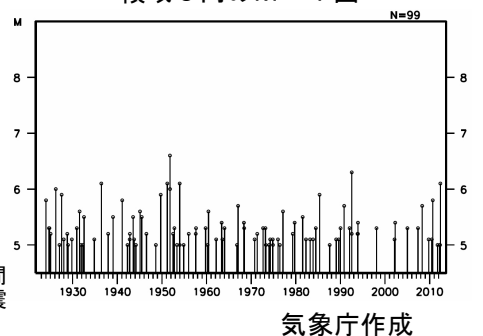
震央分布図

(1923年1月1日~2012年5月31日、深さ0~150km、M $\geq$ 5.0)



1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域e)では度々M5クラスの地震が発生している。1951年10月18日には今回の地震の震央付近でM6.6の地震(最大震度4)が発生した。今回の地震は地震調査委員会による三陸沖北部のプレート間地震の想定震源域の北端付近で発生している。この想定震源域の東端には、「1968年十勝沖地震」や「平成6年(1994年)三陸はるか沖地震」の震源がある。

領域 e 内の M-T 図



三陸沖北部のプレート間地震の想定震源域(地震調査委員会による)

気象庁作成